

対話文読解 No.3(部活と勉強の両立)

L2 発展

Class _____ No. _____ Name _____

レベル:L2(自校作成・大阪C問題レベル＝設問も英語)

目標時間:20分

満点:100点(自己採点)

Read the dialogue and answer the questions. ※設問も英語です。バスケットボール部のケン(Ken)と、引退した3年生のアオイ先輩(Aoi)の会話です。(①)～(④)は設問で選びます。

Ken: Aoi, can I ask you something? The exams are in two weeks, but we have practice every day until six. I'm too tired to study at night. How did you do both?

Aoi: I remember that feeling. In my second year, my scores went down and down. I thought, "I have no time because of basketball." (①)

Ken: Wasn't it true? You really had no time, right?

Aoi: That's what I believed. But one day, I wrote down everything I did after school for a week. Then I found the truth. I had time — I was just losing it in small pieces. Ten minutes here, fifteen minutes there. My phone ate most of them.

Ken: Ouch. That sounds like me.

Aoi: So I made one rule. It's called the fifteen-minute rule. Right after I got home, before dinner, before my phone, I studied for just fifteen minutes.

Ken: Only fifteen minutes?(②)

Aoi: That's what everyone says! But listen. Fifteen minutes right after practice is worth more than one sleepy hour at midnight. Your body is tired, but the lesson of the day is still fresh in your head.

Ken: Fresh... You mean, reviewing on the same day is stronger than reviewing later?

Aoi: Exactly. And here is the strange part. When I started with fifteen minutes, I often kept going. Starting is the heaviest door. (③)

Ken: So the rule is not really about fifteen minutes. It's a key for opening the door.

Aoi: You understand fast! One more thing: sleep. I never cut my sleep before exams. A tired brain (④) everything you put into it at night.

Ken: My last question. Did your scores really change?

Aoi: In the third year, my average went up by twenty points. But the real change was different. Basketball got better, too, because I stopped feeling guilty on the court.

Ken: That's the answer I needed most. I always feel bad during practice — "I should be studying now." If fifteen minutes can take away that feeling, the rule protects both.

Aoi: Right. It's not basketball or study. With a small rule, it can be basketball and study.

[注] score 点数 / in small pieces 細切れに / worth ~ ~の価値がある / review 復習する / average 平均点 / guilty うしろめたい / protect ~を守る

対話文読解 No.3(部活と勉強の両立) **L2 発展**

設問 本文の内容について、最も適切なものをア～エから1つずつ選ぼう。

問1(15点) Which is the best sentence to put in(①)? ア And my teacher agreed with me. イ So I quit the basketball club at once. ウ But that idea was wrong. エ Because I studied every night.	()
問2(15点) Which is the best sentence to put in(②)? ア That's too long for me. イ Is that enough to change anything? ウ I already study for three hours. エ Did you use your phone then?	()
問3(15点) Which is the best sentence to put in(③)? ア Once it opens, walking is easy. イ So I never opened the door again. ウ Closing it is much easier. エ The door was made of wood.	()
問4(15点) Which is the best word to put in(④)? ア remembers イ drops ウ enjoys エ answers	()
問5(20点) Ken says, " <u>That's the answer I needed most.</u> " Which "answer" does he mean? ア Aoi's average went up by twenty points. イ The practice ends at six every day. ウ Aoi wrote down everything for a week. エ Basketball got better because Aoi stopped feeling guilty.	()
問6(20点) According to the dialogue, which is true? ア Aoi cut her sleep to study more before exams. イ Ken has already tried the fifteen-minute rule. ウ Aoi found that her phone was taking her time in small pieces. エ The exams are two months away.	()

とき終わったら かかった時間(分 秒)→ 次のページの解説で自己採点 → 得点(/100点) まちがえた問題こそ宝。解説の「誤答の切り方」まで読むと、次の1枚で点が変わる。

解答一覧(まず自己採点)

問1	問2	問3	問4	問5	問6	得点
ウ	イ	ア	イ	エ	ウ	/100

問1 正解 **ウ**(15点) | 「思いこみ→検証→発見」の物語は But が転換点

根拠 直前＝「バスケのせいで時間がない、と思っていた」。直後にケンが「本当にそうだったんでしょ？」と聞き、アオイは That's what I believed.(そう信じていただけ)→記録して「時間はあった」と発見する。思いこみを否定する But that idea was wrong. が橋になる。

誤答の切り方

ア	先生の話は出てこない。
イ	アオイは3年生まで部活を続けた(引退した3年生)。やめていない。
ウ	直後の「信じていただけ→実は時間があった」への転換として唯一つながる。
エ	「毎晩勉強していたから」は「時間がない」の理由にならず、流れも合わない。

 この形式のコツ 経験談の対話は「思いこみ→But→検証→発見」の順に流れる。空所が思いこみの直後なら、**But** で始まる転換を最有力候補にする。

問2 正解 **イ**(15点) | 直後の返し(That's what everyone says!)から逆算する

根拠 直後＝「みんなそう言うんだ！ でも聞いて」——アオイは疑いの言葉に反論を始めている。Only fifteen minutes?(たった15分?)に続く疑い＝「それで何か変わるの?」が自然。

誤答の切り方

ア	「長すぎる」では、そのあとの「15分の価値」の説明とかみ合わない。
イ	「たった15分?→それで足りるの?」という疑い。直後の反論の相手として成立する。
ウ	「もう3時間勉強している」なら、そもそも相談(疲れて勉強できない)と矛盾。
エ	スマホの質問は話題が飛ぶ。

 この形式のコツ 空所の直後が「反論・説得」なら、空所には疑い・ためらいが入る。That's what everyone says(みんなそう言う)は、直前が「よくある疑問」だった証拠。

問3 正解 ア(15点) | 比喩のせりふは「比喩の中」で完結させる

根拠 直前＝「始めることが、いちばん重いドアだ」＋「15分で始めると、そのまま続けられた」。比喩の続き＝「いったん開けば、歩くのはかんたん」——「始めれば続く」という体験談を、同じドアの比喩で言いかえている。

誤答の切り方

ア	「開けば歩くのは楽」＝「始めれば続く」。体験談と比喩が重なる。
イ	「二度と開けなかった」は「続けられた」という体験と真逆。
ウ	「閉めるほうが楽」は勉強をやめる話になってしまう。
エ	ドアの材質は比喩と無関係。

 この形式のコツ 比喩(door / key / wall)が出たら、空所も同じ比喩の世界で読む。比喩の意味(始める＝ドアを開ける)を一度日本語で置きかえてから選ぶと迷わない。

問4 正解 イ(15点) | 文の主語(A tired brain)が動詞を決める

根拠 「私は試験前でも睡眠を削らなかった」の理由の文。A tired brain(疲れた脳)は、夜に入れたものを(④)——眠らない脳は覚えられない＝入れたものを「落とす」。drops が「せっかく勉強しても消える」を表す。

誤答の切り方

ア	remembers(覚える)では「睡眠を削らない」理由にならない——真逆。
イ	疲れた脳は夜に詰めこんだものを「落とす」→だから睡眠を守る。理由として成立。
ウ	enjoys(楽しむ)は文脈に合わない。
エ	answers(答える)も意味が通らない。

 この形式のコツ 空所の文が「～だから(前の主張)」という理由の文のときは、主張(睡眠を削らない)を支える向きの動詞を選ぶ。主張と逆向きの動詞(remembers)が最大のワナ。

問5 正解 E(20点) | 「一番ほしかった答え」は直後の自分の言葉が説明する

根拠 ケンは直後に「練習中いつも『今勉強すべきなのに』と感じてしまう。15分がその気持ちを消してくれるなら」と続ける——彼が反応したのは点数ではなく、うしろめたさが消えてバスケも良くなったという部分。

誤答の切り方

ア	20点アップはアオイ自身が「本当の変化はちがう」と言い直した側。
イ	練習時間は冒頭の背景情報。
ウ	記録の話は前半の内容で、「いま一番ほしかった答え」ではない。
エ	ケンの直後のせりふ(練習中のうしろめたさ)が指す相手。

 この形式のコツ 指示語の中身が2候補あるときは、そのあとの本人の言葉がどちらに反応しているかで決める。「直前」だけでなく「直後の反応」も証拠になる——発展レベルの指示語はここまで見る。

問6 正解 ウ(20点) | 内容一致は「誰の・いつの・どんな」の3点照合

根拠 アオイのせりふ I was just losing it in small pieces. ... My phone ate most of them.(細切れに失っていた。ほとんどはスマホが食べていた)と一致。

誤答の切り方

ア	アオイは「睡眠は削らなかった」——真逆。
イ	ケンはこれから試す側。まだやっていない。
ウ	アオイの発見そのまま。
エ	試験は「2週間後」(in two weeks)。期間のすり替え。

 この形式のコツ 経験談の対話では「した人(先輩)」と「これからする人(後輩)」の行動が混ぜられる。選択肢の主語がどちらの人物かを最初に確かめると、半分は主語だけで切れる。

会話の設計図(流れメモ)——復習は「場面の流れ」を自分の言葉で言い直すのが最短

①	相談＝毎日18時まで練習、夜は疲れて勉強できない。どう両立した？
②	発見＝「時間がない」は思いこみ。記録したら細切れの時間をスマホが食べていた
③	方法＝15分ルール(帰宅後すぐ・夕食前・スマホ前に15分だけ)
④	理屈＝当日の復習は深夜の1時間より強い＋始めれば続く(ドアの比喩)＋睡眠は削らない
⑤	効果＝平均20点アップ。でも本当の変化は「うしろめたさが消えてバスケも良くなった」

もう一段のぼる 対話文L2の3枚で「転換のBut」「反論からの逆算」「比喩の世界で読む」がそろった。次は物語文——比喩と気持ちの動きが、地の文で描かれる世界へ。

先生向け・運用ノート 自校作成・難関校向け(会話約470語)。テスト2週間前の配布が最高のタイミング——15分ルールは実践的な学習法としてそのまま紹介できる。配点は問1～4各15点・問5～6各20点。